

おくやみ申し上げます

地 区	氏 名	享年	届出人
徳 山	高松 磯枝	88	亀田 麻真
久 保 尾	竹井 正己	72	戸澤 春実
崎 平	藁畑 ゆき	105	藁畑 靖夫
久 保 尾	小澤 勻	97	小澤 和彦
地 名	宮下 やよ	96	宮下与四則
千 頭 東	上田 幸雄	94	上田 里己
坂 京	三浦 泰江	100	三浦 久典

■死亡された方については、本町に住所がある方で掲載を希望された分を掲載しています。

税務住民課 ☎0547(56)2222

川根本町の人口

令和8年10月1日現在

世帯数	2,563 世帯 (-6)	出生	1 人
総人口	5,329 人 (-12)	死亡	9 人
男 性	2,592 人 (-6)	転入	4 人
女 性	2,737 人 (-6)	転出	8 人

※()内は前月比、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

編集後記

急須のない家で育った私が、就職を機にこの町で知った、お茶の楽しみ方。当時、お茶の淹れ方を教わりながら「普段はゆっくり淹れられないな」とこぼした私に、「でも、一日のうち15分もあれば味わえるんだけどね」とつぶやいた茶農家さん。その言葉を、今も時折思い出します。

今回の取材で改めて感じたのは、川根茶を育む自然環境の豊かさ、その恵みを最大限に生かそうとする生産者の努力。土壌や天候を研究し、茶葉のわずかな変化を見極める姿に、まるで科学者のようだと感じました。

「一番おいしい状態で飲んでもらう。それがおもてなし」。川崎さんの言葉を聞き、自然の恵みと生産者の探究心が詰まった一杯を、丁寧に淹れて味わいたくなりました。効率や速さが求められる現代だからこそ、そんな「15分で味わえる贅沢」に目を向けてみるのも、いいものかもしれません。(山村のどか)



第7号

前回は三ツ星学園と光の森学園で始まった特色ある探究学習をテーマに、シームレスな共育について考えました。今回は光の森学園の「フレンドシップウィーク」を紹介し、共育の意味を皆さんと考えたいと思います。

「フレンドシップウィーク」は、ユネスコ世界遺産の白川村にある義務教育学校・白川郷学園の「結(ゆい)クラス」の活動に触発されて始まりました。「結」とは地域の助け合いの精神で、それを本校に合った形にアレンジした取組です。年齢や考え方の違う子どもたちが交流し、多様な視点を認め合う経験を積むことを目的としています。

8・9年生の数学の授業では、子どもたちが自主的に役割を決めて協働する姿が見られ、教頭の西澤先生も高く評価してくださいました。子どもたちは新しい考え方に触れたり、一緒に給食を食べたりした経験を楽しく振り返っています。先生方も子どもたちの学びの深まりを実感し、授業力向上につながるなど多くの気づきを得ました。こうした縦割りの連携による成果は計り知れません。



教育長だよりの全文は
ホームページからご覧ください。

川根本町教育委員会 教育長 石原一則

ご意見ご感想をお聞かせください。

E-mail : k-ishihara@town.kawanehon.lg.jp

不用品になったものを活かさせていただきます

不用品を買い取りいたします

昭和レトロ館 山本 博昭

〒428-0416 静岡県榛原郡川根本町田代240-1

TEL/FAX:0547-59-1811 Email:yamab123@dream.ocn.ne.jp

携帯:090-3258-7016



今年も「川根本町ゆず」の季節が到来!

まちの特産を贈る・ゆずギフト承ります!
(ご予算・用途に合わせ詰め合せから発送までお任せください)

(株)KAWANE SENSE 080-1562-1520 (ハマタニ) まで